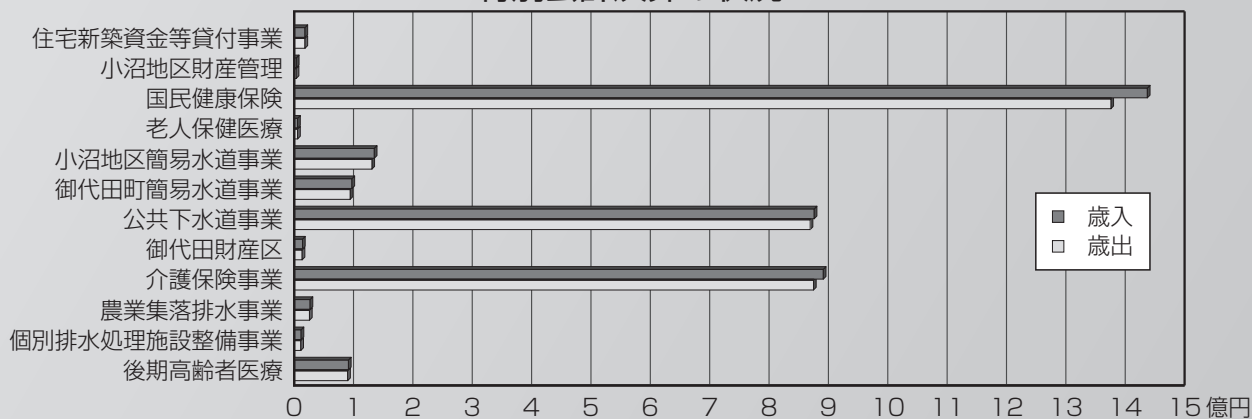


特別会計

単位:万円

会計名	歳入 36億899万円			歳出 35億1,324万円		
	決算額	前年度	対前年度比	決算額	前年度	対前年度比
住宅新築資金等貸付事業	1,824	2,005	△ 9.0%	1,823	1,975	△ 7.7%
小沼地区財産管理	370	382	△ 3.1%	342	321	6.5%
国民健康保険	143,728	139,042	3.4%	137,581	127,756	7.7%
老人保健医療	581	9,841	△ 94.1%	580	9,832	△ 94.1%
小沼地区簡易水道事業	13,502	13,153	2.7%	13,093	10,863	20.5%
御代田町簡易水道事業	9,737	9,459	2.9%	9,428	7,775	21.3%
公共下水道事業	87,608	70,742	23.8%	86,926	69,140	25.7%
御代田財産区	1,405	1,244	12.9%	1,349	1,177	14.6%
介護保険事業	89,141	90,867	△ 1.9%	87,486	89,058	△ 1.8%
農業集落排水事業	2,686	5,873	△ 54.3%	2,579	5,765	△ 55.3%
個別排水処理施設整備事業	1,173	1,149	2.1%	1,122	1,132	△ 0.9%
後期高齢者医療	9,144	9,171	△ 0.3%	9,015	9,044	△ 0.3%
合計	360,899	352,928	2.3%	351,324	333,838	5.2%

特別会計決算の状況



農林水産業費はまちづくり交付金事業による水路改良やコンバイン導入などにより5,028万円、21.8%の増となりました。

商工費は、プレミアム商品券補助金などにより3,567万円、49.5%の増となりました。

公債費は、御代田中学校建設やまちづくり交付金事業の実施などにより4億5,214万円、51.6%の増となりました。

減少した科目では、災害復旧費は、大きな災害が発生しなかったことにより1億5,615万円、98.6%の減となりました。

【特別会計】

特別会計は12会計で、それぞれ目的に沿った事業を推進しました。

このうち、老人保健医療特別会計は後期高齢者医療特別会計への移行により、歳入歳出ともに94.1%の大幅な減となりました。

公共下水道事業は、浄化管理センター工事設計などにより25.7%の歳出増となりました。

農業集落排水事業特別会計は、前年度の機能強化工事が終了したことにより、55.3%の歳出減となりました。

問い合わせ先

企画財政課財政係(内線52・54)

起 債

平成21年度起債残高(普通会計) 53億9,364万円

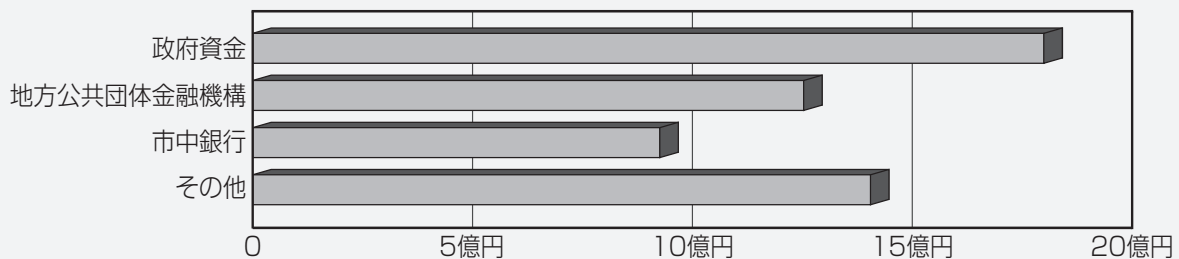
※普通会計＝一般会計＋住宅新築資金等貸付事業特別会計＋小沼地区財産管理特別会計

借入先内訳 単位:万円

借入先	金額
政府資金	180,225
地方公共団体金融機構	125,563
市中銀行	92,782
その他	140,794
合計	539,364

21年度起債事業 単位:万円

事業名	起債額
臨時財政対策	26,280
学校教育施設等整備事業	23,020
施設整備事業(一般財源化分)	230
まちづくり交付金事業	35,150
地域活性化事業	2,090



健全化判断比率

単位:%

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
-	-	9.4	-

※数値は暫定値のため、変更されることがあります。

資金不足比率

単位:%

特別会計の名称	資金不足比率
御代田町公共下水道事業特別会計	-
御代田町農業集落排水事業特別会計	-
御代田町個別排水処理施設整備事業特別会計	-
小沼地区簡易水道事業特別会計	-
御代田町簡易水道事業特別会計	-

【健全化判断比率】

① 実質赤字比率

普通会計(一般会計、住宅新築資金特別会計、小沼地区財産管理特別会計)の収支であり、黒字となっているため数値なしとなりました。

② 連結実質赤字比率

特別会計を含めた全会計の収支であり、すべての収支が黒字のため数値なしとなりました。

③ 実質公債費比率

一般会計が負担する借入金返済額の割合で、全体の公債費や公債費へ充当された負担金などから算定し、平成19年度から平成21年度の3か年の平均で9.4%となりました。

④ 将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的な負債の比率で、全体の負債、第三

セクターや土地開発公社等を含めた負債の重さを示すものですが、当町は第三セクターへの負担がないことや基金残高が多いことなどで数値なしとなりました。

⑤ 資金不足比率

各指標とあわせて、公営企業会計における資金の不足額を算出するものです。各会計で資金の不足額が生じていないため、数値なしとなっています。

各指標において、「早期健全化」と「財政再生」の二つの基準が設けられており、基準を超えると健全化に向けた対策が必要となります。

御代田町は各指標において基準を下回っているため、健全な財政状況となっています。